



発電プラント運転操作の暗黙知記録技術

ベテランの技を追体験する

背景・目的

- 実務経験の少ない若年層への技能継承が課題。
- 熟練者の暗黙知(ノウハウ)は体系的なドキュメント化が困難。
- 熟練者の行動のデジタル記録から暗黙知を抽出し、技能継承に活用する技術が求められる。

特長

- 機器操作中の主観画像に注視点を表示し、発話内容を同期して関連付けることによってベテランの技を追体験できる。
- キーワード検索によるシーンの頭出し。

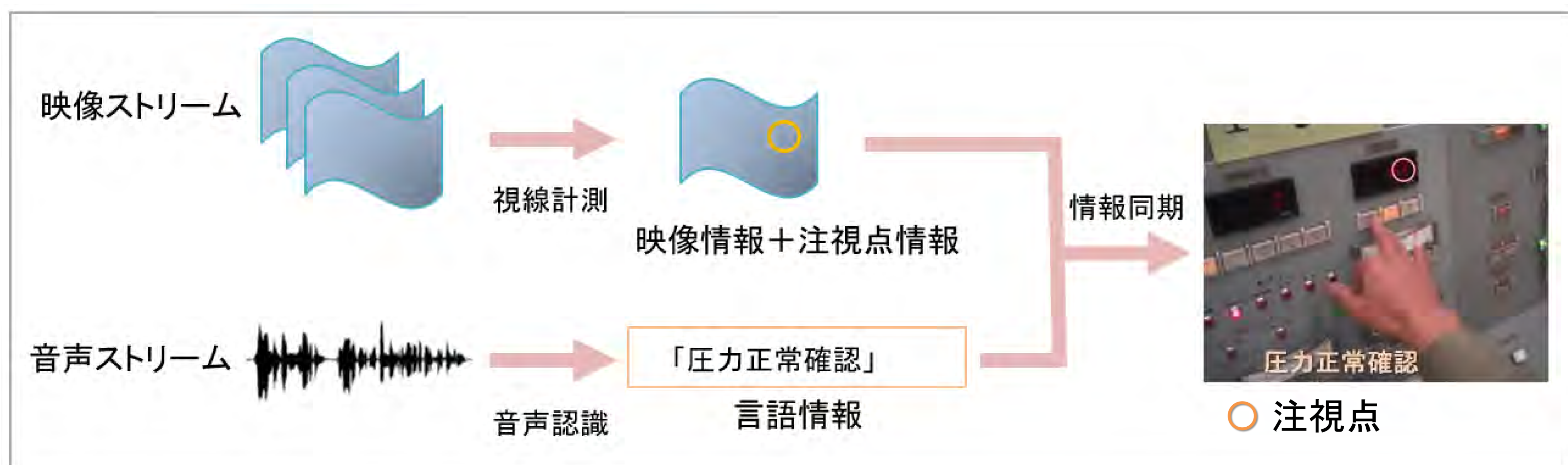
用途

- 教育研修(イメージトレーニング、行動分析、スキル判定など)
- 業務のデジタル記録(ライフログ)
- 映像シーンのキーワード検索

提案手法概要

- ベテランの暗黙知は作業時の注視点や発話などに表出すると考えられる。
- センシング技術やメディア認識技術を用い、技能継承に資するコンテンツ技術を開発した。
- 対象: 業務で「自発的発話」を伴うタスク。(制御室等でのオペレーション、巡視点検など)

■音声付動画への時空間的なインデックス情報(アノテーション)の自動付与



開発者の
ひとこと

- 視線計測デバイスの普及により様々な応用技術の可能性が開けてきました。
- 技能継承を支援する教育コンテンツ技術として開発を進めていきます。